



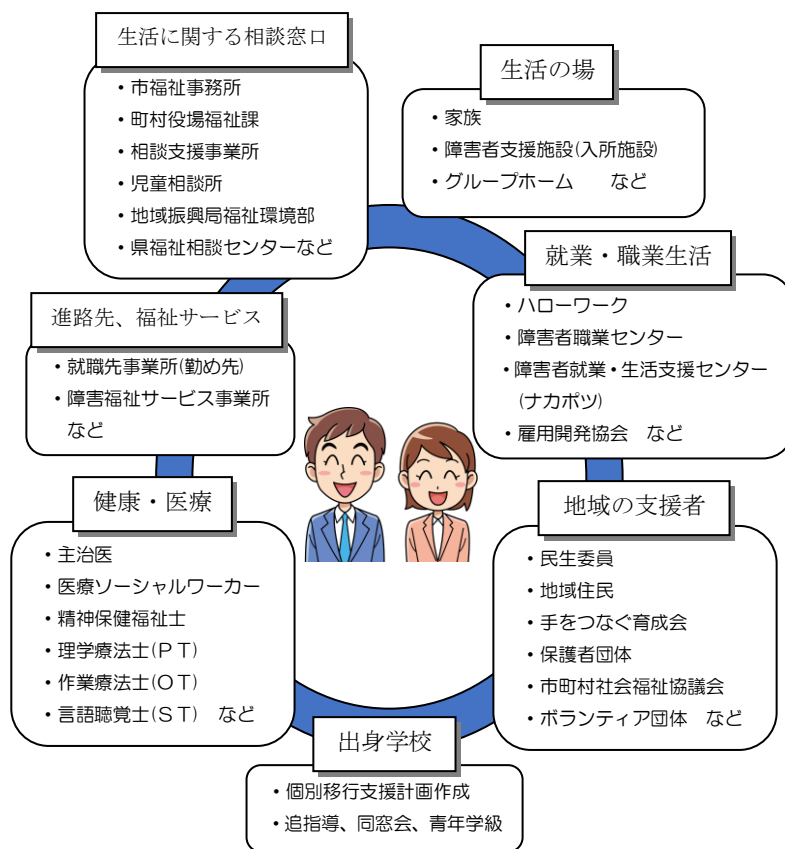
移行支援ネットワーク会議～社会参加に向けて～

7月18日(木)に高等部3年生の生徒と保護者を対象に、「第1回移行支援ネットワーク会議」が行われました。高等部卒業を機に、学校生活から社会生活に移り変わる時期を「移行期」といいます。この会議は、その移行期に様々な支援をしてくださる関係機関(応援して下さる福祉や労働等の関係者の皆さん)に集まっていただき、高等部3年生が、自分の進路希望を発表することで、お互いに知り合い、情報交換をすることを目的としています。

生徒たちは、大変緊張していましたが、自分自身の夢や、社会人になったら頑張りたいことなどを発表することができました。また、就職や一人暮らし、余暇の過ごし方、福祉サービスのことなど、多くの質問もすることができました。将来の社会参加に必要な知識を得ると同時に、相談できるところが多くあることを知ることができた大変貴重な機会となりました。



移行期から卒業後の生活を支えるネットワーク



会議に参加していただいた関係機関は、次のとおりです。

行政 : 湯沢市役所福祉保健部福祉課

労働 : 湯沢公共職業安定所、湯沢雄勝障害者就業・生活支援センターぱあとなあ

総合的な相談窓口 : 湯沢市基幹相談支援センター

各相談支援事業所 : ぱあとなあ、松風、ワークセンターゆざわ、湯雄福祉会、皆瀬更生園、ひばり野園

湯沢雄勝地域障害者福祉サービス事業所合同説明会

7月18日（木）に PTA 進路研修会として「令和6年度湯沢雄勝地域障害者福祉サービス事業所合同説明会」が実施されました。ハローワーク湯沢様、湯沢市基幹相談支援センター様をはじめ、19か所の関係機関及び福祉サービス事業所様にお集まりいただき、最新の情報提供や相談を行っていただきました。

当日は多くの保護者の方々に参加いただきました。10分間の相談タイムを3回設定しましたが、各ブースは空きのない状況で、とても熱心に情報交換が行われていました。

保護者の方からいただいた感想等をご紹介します。

- ・通所に関して、各事業所の送迎可能範囲などについて、情報を得ることができた。
- ・福祉サービス利用終了の15時以降の対応は、事業所ごとに異なることが分かってよかった。
- ・説明会をきっかけに、相談員の方にコーディネートしていただき、施設見学、施設利用（ショートステイ）につなげることができた。
- ・初めは何を聞けばいいか分からなかったが、担任の先生から、どこに何を聞けばいいか教えてもらいながら情報収集できた。
- ・サービス利用者の活動の様子を具体的に教えていただき、卒業後の生活に具体的なイメージをもつことができた。
- ・普段聞けないことや、資料を見ただけでは分からないことを直接聞くことができ良かった。短い時間だったのが残念だった。
- ・就業・生活支援センターの方から、就職後の支援について、具体的に教えていただいた。支援してくださる機関があって安心だと感じた。



また、本説明会は、保護者の方だけでなく、本校の職員も参加対象となっており、児童生徒が社会参加をする際に必要となる資質や能力についてや、生涯を通してステップアップを図りながら働くための支援体制など、保護者との進路面談をする上で役に立つ情報をいただくことができました。

来年度も、たくさん関係機関及び事業所様と保護者の皆様にご参加いただきたいと思います。



説明会に参加していただいた関係機関及び福祉サービス事業所は、次のとおりです。

〈 福祉事業所 〉

愛光園 松風 ひばり野園 皆瀬更生園 ワークセンターゆざわ 五輪坂ひなげしの里
すみれ 羽後のうさん ひだまり 偕行塾 あんみつ姫 ポリッシュ あきたアグリネット
笑羽グループホーム 湯沢市農援隊 manaby CREATORS 東成瀬

〈 関係機関 〉

湯沢公共職業安定所 就業・生活支援センターばあとなあ 湯沢市基幹相談支援センター

